

# 『いのち』を考える

あなたにとって「いのち」とは

10/3  
(金)

## 飯田 史彦

元・福島大学経済経営学類教授、飯田史彦メンタルヘルス・マネジメント研究所所長、社会奉仕施設「光の学校」校長(京都市三条御幸町)

### 「生きがいの創造 ～科学的スピリチュアル・ケアの理論と方法」

近年、「人生に悩み苦しむ人々を救う効果的手段」として、各国の医療・福祉・教育関係者から着目されている「科学的スピリチュアル・ケア」の理論と方法について、科学的な思考と情報をもとに、わかりやすく解説する。

10/10  
(金)

## 池永 昌之

淀川キリスト教病院  
ホスピス・こどもホスピス病院副院長



### ホスピスで『いのち』を考える

ホスピスは、がんを持った患者さんが最期まで生きることを支えるところです。そのような患者さんに寄り添う私たちには、何かできるのでしょうか?患者さんは何を求めておられるのでしょうか?皆さんとご一緒に考えることができればと思っています。

10/17  
(金)

## 菅野 典雄

福島県飯館村村長



### 「お金の世界」から「いのちの世界」へ

原発事故から何を学び、何を次世代に引き継いでいくべきか。もっと便利に、もっと豊かに、もっともっと経済の豊かさのみを追求していく限り、より多くのエネルギーが必要になり、より危い借金大国の日本をバトンタッチしていくことになりはしないか。成長社会から成熟社会への切り替えをしなければということだろう。

10/24  
(金)

## 木村 利人

早稲田大学名誉教授



### 「いのち」を「幸せ」に生きるために～態度に示す人生を～

「いのち」を「幸せ」に生きるためには、どのような選択や準備が必要でしょうか。55年前、学生の時に作詞した「幸せなら手をたたこう」を手がかりに、少子高齢化時代の「態度に示す」生き方を「バイオエシックス(生命倫理)」に沿って、ともに考えましょう。

10/31  
(金)

## 鎌田 東二

京都大学  
こころの未来研究センター教授



### 「日本文化から<いのち>の問題を考える」

万葉集の中で「いのち」に係る枕詞は「たまきはる」と呼ばれます。たましいがやって来て、そこで時を過ぎて還ってゆく。そのような大いなる循環の中にある生命と靈性の現象と運動。そこに「いのち」が寄り、はたらくと考えました。その日本人の「いのち」観(感)を「古事記」や「万葉集」や「古今和歌集」「新古今和歌集」の古典から、夏目漱石や宮沢賢治や遠藤周作などの近現代文学まで自由に上げながら考えていきます。

11/7  
(金)

## 高木 慶子

上智大学特任教授  
上智大学グリーンケア研究所特任所長



### 私にとっての『いのち』は『他者を愛する力』です

私を生かしている「いのち」は、周りにおられる方々を、信頼と尊敬をもって大切に、また、お一人おひとりがその方らしく幸せに生きていただけるよう、相互に支え合い、励まし合って生きて行くための原動力であると思っております。